

令和8年度

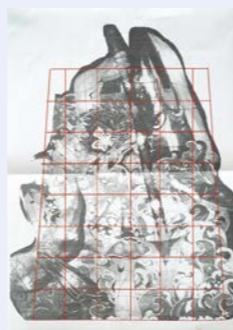
新作万燈・若衆頭 一挙紹介

秋葉社の祭礼として始まり、240年以上の歴史を誇る万燈祭。県の無形民俗文化財にも指定され、7つの町、市内の企業や地区が参加します。平成30年には「第22回ふるさとイベント大賞」で、大賞（内閣総理大臣賞）を受賞しました。万燈は、日が沈むにつれ、色鮮やかに光を放ち、見る者を魅了します。若衆が高さ約5m、重さ約60kgの万燈を1人で担ぎ、勇壮に舞う様子は圧巻です。ぜひ、各町自慢の華麗な万燈と舞をご覧ください。
市観光協会 (☎23-4100)



新栄町 近藤 光平

織田信長を支え、伝説の鉄甲船を駆った「海賊大名」九鬼嘉隆。志摩の海で培った捕鯨の技は、最強水軍の精緻な集団戦法へと昇華されました。本作は、嘉隆が荒波の中で巨鯨を討ち取った勇猛果敢な伝説を再現。巨大な敵に立ち向かう武勇と、漆黒の海を支配した男たちの矜持を、若衆と共に体現します。



「海賊大名」九鬼嘉隆、鯨狩り

活気溢れる新栄町若衆の勇姿、とくにご覧あれ!



銀座 立白 龍二

雪景色の中、小町姫(実は霊木小町桜の精)は、元の恋人と偶然再会しますが、天下を狙う大伴黒主が護摩木にするため霊木小町桜を切り倒そうとします。小町桜の精は遊女墨染となって現れ、これを退けようと激しく争うという歌舞伎の演目です。咲き誇る小町桜と黒主・墨染が戦う姿の対比が見どころです。



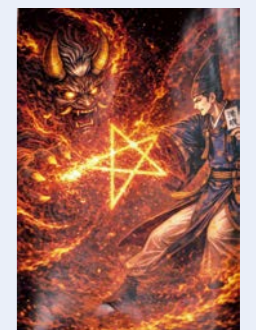
つるこいゆきのせせと「積恋雪関扉」大伴黒主と傾城墨染

昨年引き続き気合い入れてやります!



寺横町 小林 祐也

今年の寺横町は、安倍晴明の鬼退治がテーマです。迫力ある演出と幻想的な灯りが最高で物語の世界に引き込まれます。みんなで力を合わせて作り上げた一体感が見どころです。寺横町が、万燈の動きと掛け声でアツク盛り上げます!



おんみょうじ 陰陽師 安倍晴明 鬼退治

寺横町の祭りをどうぞご覧あれ!



広小路五組 岡本 怜音

歌川国芳が描く浮世絵を題材に、1人の豪傑が「雲州富田川の主」として恐れられた巨大な大山椒魚に立ち向かう一幕を万燈に表現。巨大な大山椒魚のおどろおどろしさはもちろん、鬼気迫る表情でつかみかかる武士の躍動感溢れる造形にもご注目ください。広五の熱で全身が滾るような祭りを皆さんにお届けします。



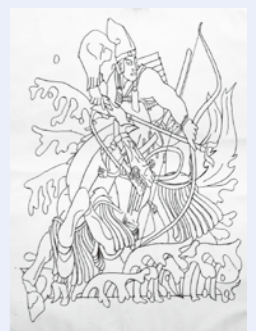
雲州富田川の主 大山椒魚退治

アチチチ夏夜を焦がす 広五かな



司町 宮田 尚朋

平家を打ち滅ぼさんとする源氏の軍勢と平家の軍勢が屋島の沖から引き始めた時、平家の船が近寄って来たため、源義経が船に掲げられた扇を射るよう那須与一に命じ、与一が海に入り騎乗したまま射落とさんとする様子を表現しました。与一の何事にも動じず、馬上から射ようとする勇姿をご覧ください。



那須与一 屋島の戦

活気あふれる若衆が祭を楽しむ姿をご覧ください。



広小路 村松 涼太

今年の題材は、御伽草子の酒呑童子です。酒呑童子とは平安時代の京の都をおびやかした鬼の頭目で、神々から神秘的力を授かった源頼光らによって討ち取られます。神々の力を龍の姿にして、神秘と力強さを表現し躍動感を出しました。夜に映えるような色彩で仕上げた夜空に舞う「鬼と龍」に注目です。



源頼光 酒呑童子退治

広小路らしい元気と笑顔の溢れる祭りをします。



東陽町 森 翼

かつて戦国時代、戦国最強と呼ばれた夫婦「立花宗茂・間千代」。戦場での活躍が秀吉や家康に認められ、人望も厚く「義」に生きた宗茂。宗茂が城を留守にした際、自ら武装し城を守った逸話もあり宗茂の思いを胸に「愛」に生きた間千代。「義」と「愛」に生きた2人の勇姿を表現しました。



戦国最強夫婦 立花宗茂・間千代

これぞ東陽町! 熱気と活気に満ちた勇姿をお魅せします!